

# 2018年11月期 決算説明資料

 グループ

2019年1月11日  
ニッケ(日本毛織株式会社)  
東証第1部 3201

---

## 2018年11月期 ハイライト



2018年11月期実績は売上高、各利益で過去最高値を更新  
営業利益は9期連続増益を達成

**売上高** 1,105.3億円（前期比 6.8%増 ↑）

**営業利益** 83.6億円（前期比 0.2%増 ↑）

**経常利益** 91.2億円（前期比 0.4%増 ↑）

親会社株主に帰属する

**当期純利益** 52.7億円（前期比 0.1%増 ↑）

# 目次

---

I. 2018年11月期 実績	P 4～
II. 2019年11月期 業績予想	P 13～
III. 株主還元	P 24～
IV. トピックス	P 28～
V. 参考資料	P 33～

# I.2018年11月期 実績

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



# 連結業績の概要について



(金額:百万円)

## 2018年11月期実績は前期比で増収増益

	実績			前期比増減		業績予想進捗
	2016/11期	2017/11期	2018/11期	金額	比率 (%)	(%)
売上高	100,982	103,498	110,538	7,040	6.8%	97.8%
営業利益	7,620	8,348	8,368	19	0.2%	104.6%
営業利益率	7.5%	8.1%	7.6%	-0.5%	-	-
経常利益	7,649	9,089	9,128	39	0.4%	107.4%
特別損益	-59	-1,038	-695	343	-	-
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,002	5,270	5,274	4	0.1%	99.5%
ROE	6.2%	6.2%	6.0%	-0.2%	-	-

- ✓ 人とみらい開発事業、生活流通事業が好調
- ✓ 衣料繊維事業は羊毛原料価格高騰によるコスト増が収益を圧迫

# セグメント別業績の概要

(金額:百万円)		実績		前期比増減	
		2017/11期	2018/11期	金額	比率 (%)
衣料繊維	売上高	35,957	35,806	-150	-0.4%
	営業利益	2,017	1,882	-134	-6.7%
	営業利益率	5.6%	5.3%	-0.3%	-
産業機材	売上高	20,545	22,213	1,667	8.1%
	営業利益	1,657	1,562	-95	-5.8%
	営業利益率	8.1%	7.0%	-1.1%	-
人とみらい開発	売上高	34,470	38,688	4,217	12.2%
	営業利益	5,485	5,770	285	5.2%
	営業利益率	15.9%	14.9%	-1.0%	-
生活流通	売上高	12,523	13,830	1,306	10.4%
	営業利益	656	715	58	9.0%
	営業利益率	5.2%	5.2%	-0.0%	-
その他調整	営業利益	-1,469	-1,562	-93	-
合計	売上高	103,498	110,538	7,040	6.8%
	営業利益	8,348	8,368	19	0.2%
	営業利益率	8.1%	7.6%	-0.5%	-

# 衣料繊維事業の概況



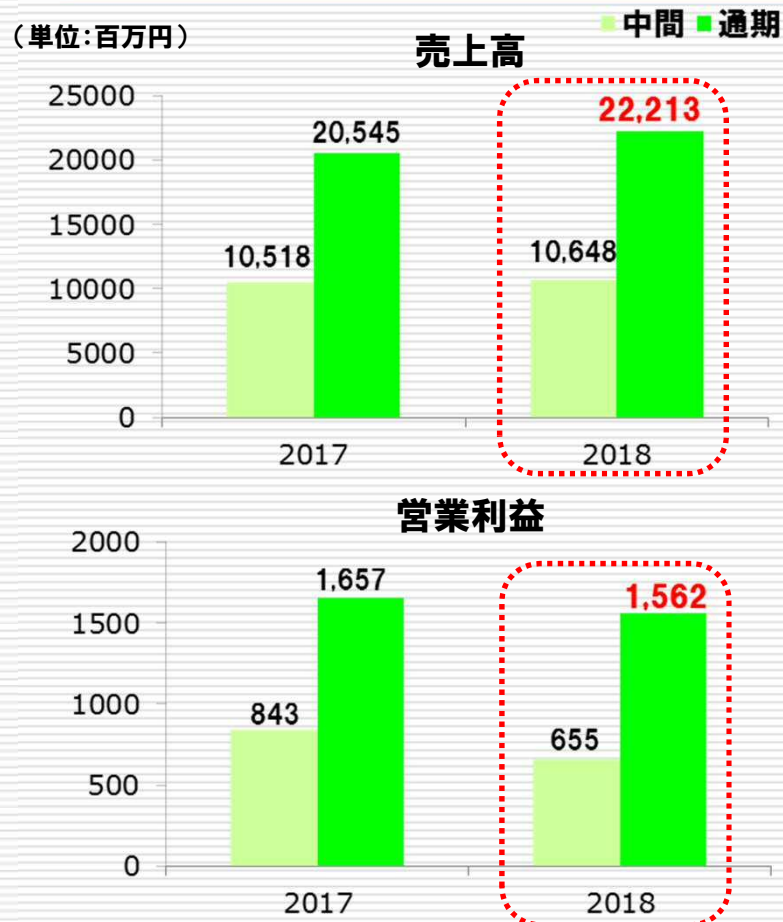
## 前期比で減収減益

売上高	35,806百万円	0.4%減↓
営業利益	1,882百万円	6.7%減↓

### <業績概要>

- 学校制服、一般企業制服用素材は概ね前期並みに推移。
- 官公庁制服用素材は大口物件が減少。
- 一般衣料用素材は欧州向けが好調。
- 羊毛原料価格高騰によるコストアップ等が全体の収益を圧迫。

# 産業機材事業の概況



## 前期比で増収減益

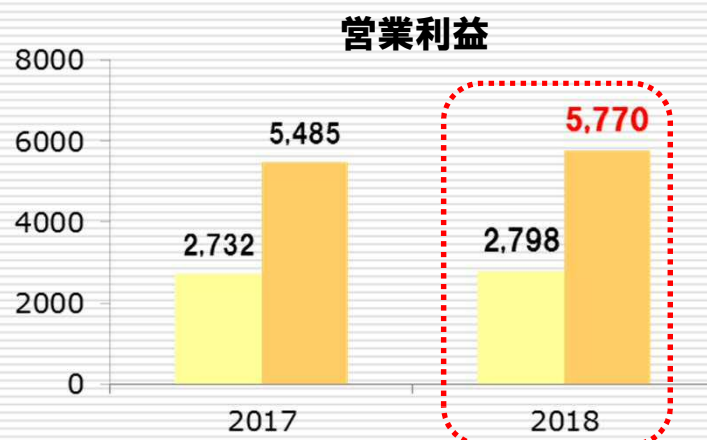
売上高	22,213百万円	8.1%増 ↑
営業利益	1,562百万円	5.8%減 ↓

### <業績概要>

- 第2四半期より(株)エミーを新規連結。
- 車載電装品製造ラインのFA装置は名古屋事業所が受注拡大に大きく寄与。
- 車両向け不織布・縫製糸は堅調に推移。
- 環境用フィルターは中国での販売が好調。
- 釣具は新商品の立上げ遅れ等で低調。



# 人とみらい開発事業の概況



## 前期比で増収増益

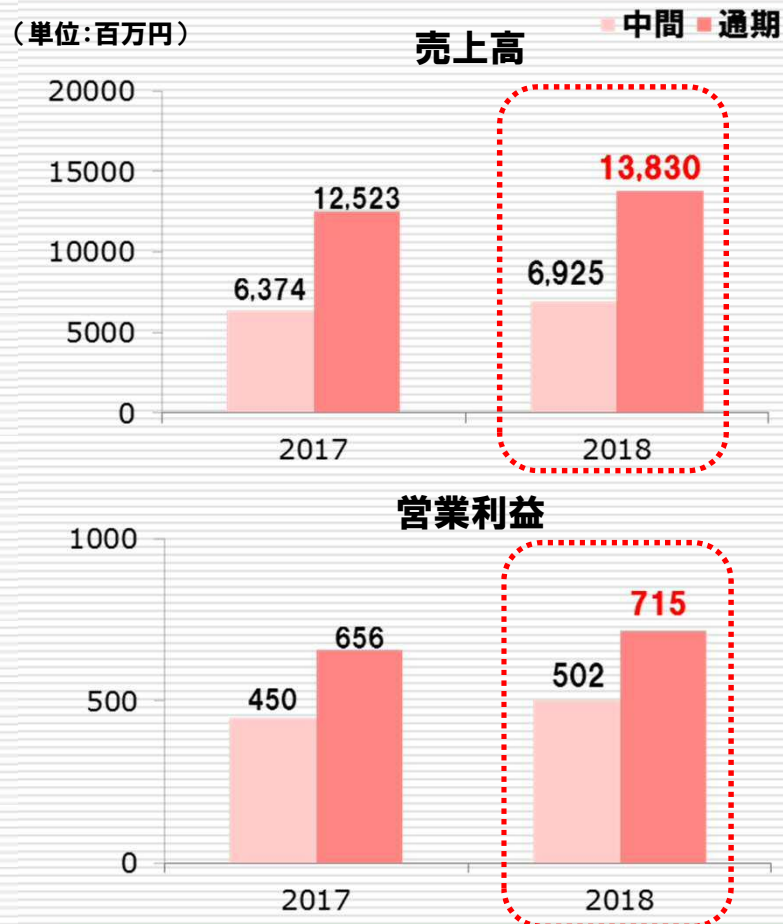
売上高 38,688百万円 12.2%増 ↑

営業利益 5,770百万円 5.2%増 ↑

### <業績概要>

- 商業施設運営事業はリニューアル効果等で好調を維持。
- 不動産事業は堅調に推移。
- 介護事業は大型施設の入居が進み収益が大幅に改善。
- 保育事業は売上拡大も新規開園に伴う先行投資費用が増加。

# 生活流通事業の概況



## 前期比で増収増益

売上高 13,830百万円 10.4%増 ↑

営業利益 715百万円 9.0%増 ↑

### <業績概要>

- 第3四半期より(株)AQUAを新規連結。
- Eコマース事業で軽寝具の販売が好調。
- ホビークラフト用事業が国内外とも好調。
- 保険事業は引き続き堅調に推移。

# 連結貸借対照表/連結CF サマリー



(金額:百万円)

連結貸借対照表	2017/11	2018/11	増減	連結C/F	2017累計	2018累計	増減
流動資産	65,815	71,825	6,009	営業キャッシュフロー	9,206	5,812	-3,393
固定資産	75,308	70,635	-4,673	投資キャッシュフロー	-6,695	-2,933	3,761
資産合計	141,124	142,460	1,336	財務キャッシュフロー	-743	-1,483	-739
流動負債	34,814	38,356	3,541	現金及び現金同等物の期末残高	15,951	17,425	1,473
固定負債	17,241	14,908	-2,333				
負債合計	52,056	53,265	1,208				
株主資本	80,352	83,158	2,806				
その他包括利益累計額	7,666	4,997	-2,668				
非支配株主持分	1,048	1,039	-9				
純資産合計	89,067	89,195	127				
負債・純資産合計	141,124	142,460	1,336				
(自己資本比率)	62.4%	61.9%	-0.5%				

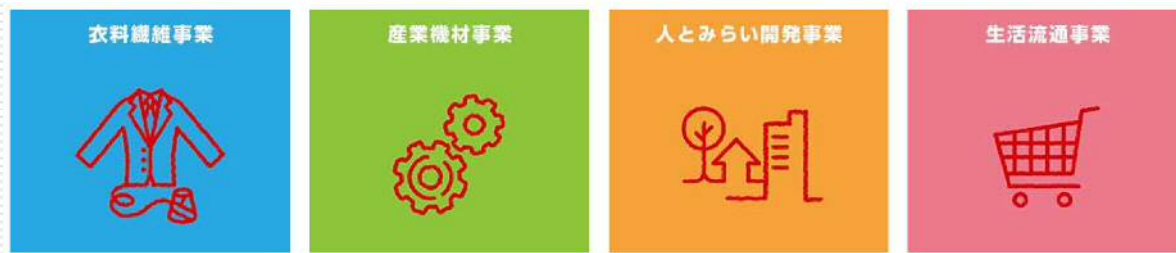
# 設備投資額/減価償却費推移



2018/11期  
主な投資案件

- ・ナインアワーズ新大阪駅(カプセルホテル) 建築関連 約4億円
- ・SC(ショッピングセンター) 建物設備修繕等 約4億円
- ・保育園(市川)、キッズランド(甲子園) 新規出店 約2億円 等

## II. 2019年11月期 業績予想



## 2019年11月期 業績予想の概要



2019年11月期は前期比で増収増益の計画  
RN130第1次中期経営計画達成の見込み

**売上高** 1,200億円（前期比 8.6%増 ↑）

**営業利益** 90億円（前期比 7.5%増 ↑）

**経常利益** 93億円（前期比 1.9%増 ↑）

親会社株主に帰属する

**当期純利益** 63億円（前期比 19.4%増 ↑）

# 事業環境認識

事業部	事業環境
衣料繊維事業	ビジネスユニフォーム:2019年はオリンピック特需の見込み 売糸:国内毛糸(ウール)市場は縮小 海外市場:スクールユニフォームは中国市場で拡大の見込み 羊毛原料価格:米中貿易摩擦で一時調整も、高止まりの見込み
産業機材事業	自動車関連分野:EVや自動運転の流れで市場拡大の見込み 環境関連分野:中国は環境規制により市場拡大の見込み その他産業用分野:日系メーカー向け家電関連は国内・海外市場とも縮小 生活用関連分野:スポーツ、釣具とも国内は成熟市場
人とみらい開発事業	ショッピングセンター:国内市場は飽和状態(ECの台頭) 介護・保育事業:国内市場は拡大の見込みも競争激化
生活流通事業	Eコマース:引き続き市場拡大の見込み ホビークラフト:海外市場は拡大の見込み (スタンプ・インク)

# 2019年11月期 重点方針

“未開の分野に目を向け、「高機能商品」「地域No1サービス」の開発と提供へ挑戦し、みらい生活創造企業を目指す。”

- ①第1次中計の各施策の成果出しと経営計画の達成
- ②次期中計に向けての成長ドライバーの育成
- ③グローバル展開の推進
- ④構造改革の更なる推進と資本効率を意識した事業運営
- ⑤チャレンジする人財の育成と成果に報いる人事制度の開発
- ⑥コンプライアンスの徹底による信頼される企業グループづくり



# 2019年11月期 業績予想



(金額:百万円)

## 2019年11月期の業績予想は前期比で増収増益の見通し

	実績		予想		前期比増減	
	2017/11期	2018/11期	2019/11期		金額	比率 (%)
			業績予想	中計目標		
売上高	103,498	110,538	120,000	120,000	9,462	8.6%
営業利益	8,348	8,368	9,000	9,000	632	7.5%
営業利益率	8.1%	7.6%	7.5%	7.5%	-0.1%	-
経常利益	9,089	9,128	9,300	-	171	1.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	5,270	5,274	6,300	6,300	1,025	19.4%
ROE	6.2%	6.0%	7.0%	7.0%	-%	-

- ✓ 衣料繊維事業は業績が回復し、大幅増益の見通し
- ✓ 産業機材、人とみらい開発、生活流通事業は引き続き堅調に推移する見通し

# セグメント別業績予想



		実績	予想		前期比増減	
		2018/11期	2019/11期		金額	比率 (%)
			業績予想	中計目標		
(金額:百万円)						
衣料繊維	売上高	35,806	37,500	44,000	1,694	4.7%
	営業利益	1,882	2,500	3,300	618	32.8%
	営業利益率	5.3%	6.7%	7.5%	1.4%	-
産業機材	売上高	22,213	23,200	22,000	987	4.4%
	営業利益	1,562	1,650	1,692	88	5.6%
	営業利益率	7.0%	7.1%	7.7%	0.1%	-
人とみらい開発	売上高	38,688	43,200	40,000	4,512	11.7%
	営業利益	5,770	6,350	6,250	580	10.1%
	営業利益率	14.9%	14.7%	15.6%	-0.2%	-
生活流通	売上高	13,830	16,100	15,000	2,270	16.4%
	営業利益	715	800	711	85	11.9%
	営業利益率	5.2%	5.0%	4.7%	-0.2%	-
その他調整	売上高	-	-	-1,000	-	-
	営業利益	-1,562	-2,300	-2,953	-371	-
合計	売上高	110,538	120,000	120,000	9,462	8.6%
	営業利益	8,368	9,000	9,000	632	7.5%
	営業利益率	7.6%	7.5%	7.5%	-0.1%	-

# 衣料繊維事業 RN130第1次中計進捗



(金額:百万円)

	RN130第1次中計				
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期 実績	2019/11期	
				業績予想	中計目標
売上高	37,556	35,957	35,806	37,500	44,000
営業利益	2,610	2,017	1,882	2,500	3,300
営業利益率	6.9%	5.6%	5.3%	6.7%	7.5%

2019/11期  
RN130  
第1次中計  
重点施策

- **ユニフォーム事業の収益改善**  
戦略商材 MIRAIZ の拡販、オリンピック需要獲得、ビジネス生地価格改定
- **コストリダクション**  
工場現場力(品質・納期)の向上、原材料調達方法の見直しによるコスト低減
- **成長分野への経営資源投入**  
中国学生服販事業の基盤構築、差別化商品(防災・防刃・機能素材等)の拡販

# 産業機材事業 RN130第1次中計進捗



(金額:百万円)

	RN130第1次中計				
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期 実績	2019/11期	
				業績予想	中計目標
売上高	18,775	20,545	22,213	23,200	22,000
営業利益	1,023	1,657	1,562	1,650	1,692
営業利益率	5.4%	8.1%	7.0%	7.1%	7.7%

2019/11期  
RN130  
第1次中計  
重点施策

- 成長分野への経営資源投入と事業拡大  
自動車(EV・自動運転対応)、環境関連(中国向けフィルター)分野の更なる拡大
- (株)エミーを核とした海外販売の強化  
産業機材事業本部の商社として、ニッケグループ商品を海外で拡販
- 不採算分野や不採算事業の収益改善  
アンビック(株)の香港販社解散、(株)ゴーセンの収益改善 等

# 人とみらい開発事業 RN130第1次中計進捗



(金額:百万円)

	RN130第1次中計				
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期 実績	2019/11期	
				業績予想	中計目標
売上高	34,592	34,470	38,688	43,200	40,000
営業利益	5,108	5,485	5,770	6,350	6,250
営業利益率	14.8%	15.9%	14.9%	14.7%	15.6%

2019/11期  
RN130  
第1次中計  
重点施策

- 資産効率の改善  
遊休地(社宅・工場跡地等)の再開発や積極的な不動産事業の展開
- 通信分野の収益改善  
事業運営体制の見直しによる収益改善
- 成長分野への経営資源投入  
介護・保育・キッズ・スポーツ等ライフサポート分野の事業拡大

# 生活流通事業 RN130第1次中計進捗



(金額:百万円)

	RN130第1次中計				
	2016/11期 実績	2017/11期 実績	2018/11期 実績	2019/11期	
				業績予想	中計目標
売上高	10,055	12,523	13,830	16,100	15,000
営業利益	498	656	715	800	711
営業利益率	5.0%	5.2%	5.2%	5.0%	4.7%

2019/11期  
RN130  
第1次中計  
重点施策

- **Eコマース関連分野の拡大**  
BtoC分野において更なる事業の拡大
- **事業部の方向性の共有**  
業種の異なる各社を事業毎にグループ化し目標を共有
- **成長分野への経営資源投入**  
M&Aを活用した関連事業の拡充と深堀

# RN130第1次中計進捗2年目(2018年)総括



全体としては当初計画通り、2019年度 売上高1,200億円、営業利益90億円、当期純利益63億円、ROE7%以上の目標達成に向け、順調に推移

## □ 進捗が遅れている取り組み

RN130第1次 重点施策 進捗遅れの状況	衣料繊維	✓ 新規事業(防災・防刃等)の拡大 ⇒ 2019年度以降に拡販 ✓ オリンピック特需獲得 ⇒ 2019年度に獲得見込み
	産業機材	✓ 環境向け開発・製造体制強化 ⇒ 2019年度以降に実施予定
	人とみらい開発	✓ 遊休地(工場跡地)等の再開発 ⇒ 2019年度以降に実施予定
	生活流通	✓ Eコマース事業の物流拠点確立 ⇒ 事業環境の変化に応じて引き続き検討

## III. 株主還元

衣料繊維事業



産業機械事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



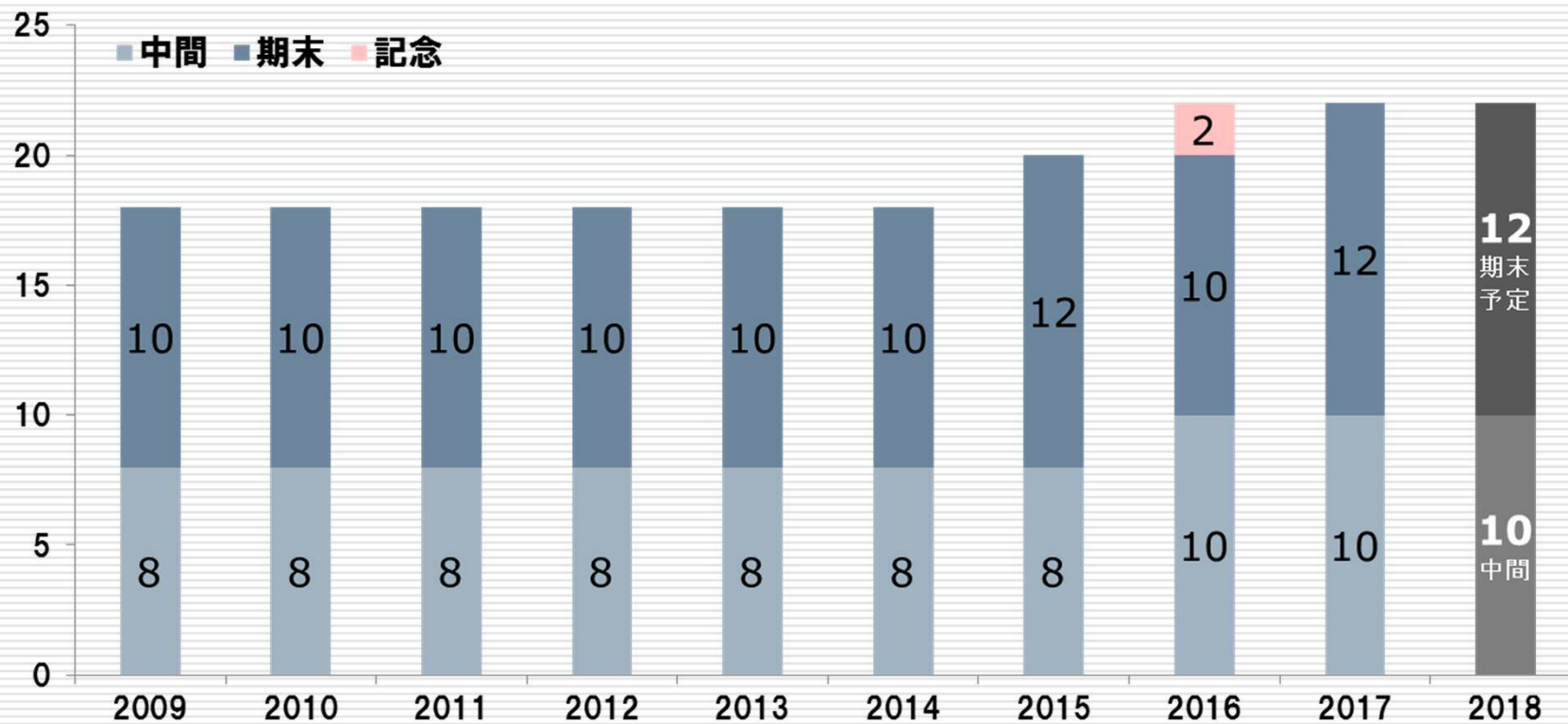


# 資本政策・株主還元

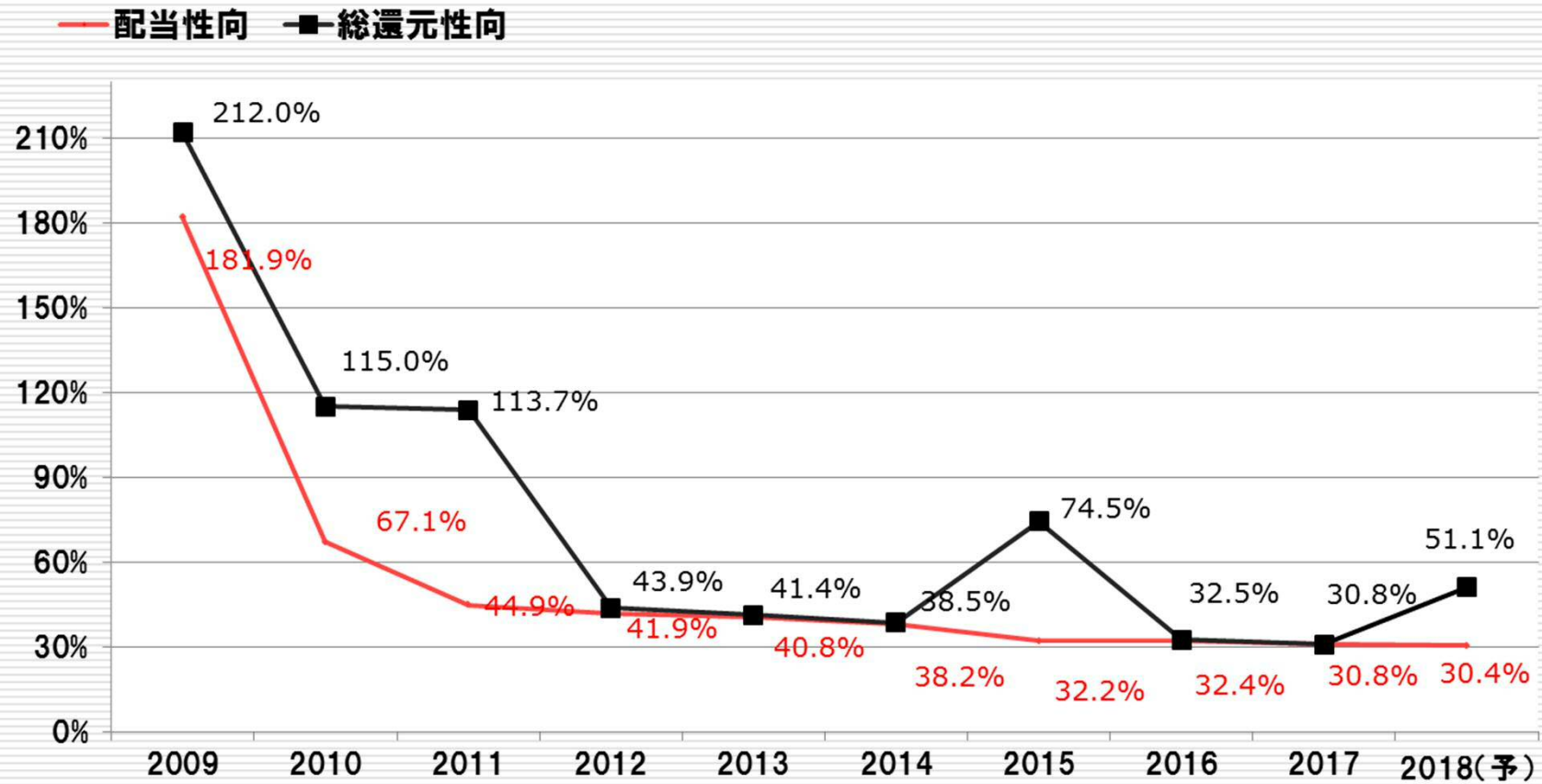
- ①成長投資と安定的な株主還元のバランスを志向する。
- ②成長投資については、研究開発投資、M&A投資、設備投資、人財投資など、中長期的な企業価値の向上の観点から積極的に実行する。
- ③株主還元については、減配しない安定的な配当政策を継続する。配当性向30%以上を目安とし、利益水準に応じて配当を引き上げていく。自己株式取得を含む総合的な株主還元を充実させる。

# 1株あたり配当

2018年11月期は、1株あたり年間22円を予定



# 配当性向・総還元性向



## IV. トピックス

衣料繊維事業



産業機材事業



人とみらい開発事業



生活流通事業



# 「ナインアワーズ新大阪駅」 JR新大阪駅至近に開業（2018年10月）

**ニッケ**グループ

当社は、所有資産の有効活用をはじめとした、ショッピングセンター、介護、スポーツ施設などの不動産開発を進めております。今回、外国人観光客の増加による宿泊需要の拡大を狙い、新たに観光・ホテル事業にチャレンジすることと致しました。「ナインアワーズ」は、お客様に「安心」「安全」「快適」な睡眠の場所を365日の体制で提供し、当社グループが掲げている「みらい生活創造」企業の一端を担うと共に、施設内の寝具等を当社グループのニッケ商事株式会社が担うなど、グループ間のシナジー効果の拡大を目指してまいります。

## <店舗概要>

開業日 : 2018年10月22日(月)  
所在地 : 大阪市東淀川区東中島1-19-9  
JR新大阪駅 徒歩1分  
大阪メトロ御堂筋線新大阪駅 徒歩10分  
営業時間 : 24時間(年内無休)  
延床面積 : 992.56㎡(約300.25坪)  
敷地面積 : 233.59㎡(約70.66坪)  
客室数 : 164室(男性76室・女性88室)  
所有 : ニッケ(日本毛織株式会社)  
運営 : 株式会社ナインアワーズ、ニッケ(日本毛織株式会社)  
URL : [ninehours.co.jp/shin-osaka/](http://ninehours.co.jp/shin-osaka/)



外観の様子「ナインアワーズ新大阪駅」



新大阪駅から見える風景

# 中国で学生服の生地販売に参入 「青島日毛織物上海分公司設立」(2018年11月)



当社は中国での学生服の生地販売参入に向け、2018年11月2日に青島日毛織物上海分公司を設立しました。12月に上海市内の自社オフィスで開催した内見会では、来場した地元の学生服メーカーや商社の方々に、学生服の価値とウールの機能性を訴えました。中国の学生服はこれまで、ジャージーとトレーナーのスタイルが主流でしたが、近年は私立を中心にブレザースタイルの制服を採用する学校が増加しつつあります。衣料繊維事業本部では今後、中国での学生服生地等の販売拡大に取り組むとともに、制服ビジネスの海外展開を推進してまいります。

## <会社概要>

名称 : 青島日毛織物有限公司上海分公司  
代表者 : 総経理 金田 至保  
設立日 : 2018年11月2日  
所在地 : 上海市長寧区遵義路107号  
安泰大樓303号



自社オフィスで開催した内見会での展示

# メディカル用資材製品の事業会社 「株式会社ニッケ・メディカル」設立（2018年11月）



当社は、ライフサイエンス分野への進出をはかるため、メディカル用資材を専門に取り扱う組織として、新会社「株式会社ニッケ・メディカル」を2018年11月に設立し、事業を開始致しました。本年10月に販売開始した細胞培養足場材「Genocel（ジェノセル）」を皮切りに、当社研究開発センターでは、再生医療をはじめとしたライフサイエンス分野で活用いただける様々な繊維加工製品の開発を進めております。メディカル専門の事業会社の設立により、これら開発製品を市場に浸透させるとともに幅広い市場のニーズを把握し応えていくことで、ライフサイエンス分野の更なる発展に貢献したいと考えております。

## <会社概要>

会社名 : 株式会社ニッケ・メディカル  
所在地 : 大阪市中央区瓦町3丁目3-10  
代表者 : 代表取締役社長 大橋 一宏  
事業内容 : 試薬、医療機器などの開発・製造・販売  
資本金 : 10 百万円（日本毛織株式会社100%）



培養する細胞の足場となる部材「Genocel（ジェノセル）」

# V. 参考資料



## 会社概要



会社名	日本毛織株式会社(通称ニッケ)
本社	大阪府中央区瓦町3丁目3-10
代表者	代表取締役 富田 一弥
設立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465百万円
連結売上高	110,538百万円(2018/11時点)
従業員数	連結:5,077名 単体:515名(2018/11時点)
上場区分	東証1部
単元株	100株

# 沿革

1896年(明治29年)	日本毛織株式会社を設立(12月)		1998年(平成10年)	中国青島市に「青島日毛織物有限公司」設立	
1899年(明治32年)	加古川工場操業開始		2002年(平成14年)	東京支社を八重洲に移転 「ブルミエール・ヴィジョン」にアジアから初めて出展 アンビック(株)を子会社化 中国の江陰日毛紡績有限公司買収	
1900年(明治33年)	陸海軍省に初めて毛布を納入		2003年(平成15年)	株式会社ジー・シー・シーを子会社化	
1901年(明治34年)	ラシャの製造開始		2006年(平成18年)	株式会社コーセンを子会社化	
1912年(明治45年)	梳毛糸・モスリンの製造開始		2007年(平成19年)	「ニッケグループ中長期ビジョン(NN120ビジョン)」策定 定年制65歳に延長決定	
1919年(大正8年)	印南工場操業開始		2008年(平成20年)	通称社名「ニッケ(NIKKE)」を採用 組織改正により6つの事業領域に区分	
1937年(昭和12年)	神戸市神戸区明石町47に本社ビル(現本店)建設		2012年(平成24年)	日毛(上海)管理有限公司を設立 安碧克(上海)貿易有限公司を設立 コーセン・タイランド社を設立 組織改正により4つの事業領域に区分	
1949年(昭和24年)	東京証券取引所1部に上場(5月16日)		2013年(平成25年)	(株)ツキネコを子会社化 ニッケまちなか発電所明石土山開業 ニッケ・タイランド設立	
1956年(昭和31年)	ニホンケオリ・アルゼンチナ設立(1981年閉鎖) 昭和天皇・皇后両陛下が加古川工場に行幸啓		2014年(平成26年)	ニッケテキスタイル(株)設立	
1958年(昭和33年)	鶴沼工場(現岐阜工場)操業開始		2015年(平成27年)	本社ビル1階に事業紹介コーナーを開設 日本バムコ(株)を子会社化 杉本織物(株)を子会社化 一宮事業所の紡績・整理技術を岐阜工場、印南工場へ集約	
1964年(昭和39年)	日本でのウールマークの使用認可第1号を取得		2016年(平成28年)	ミヤコ商事(株)を子会社化 (株)こどものかおを子会社化 「ニッケグループ中長期ビジョン(RN130ビジョン)」策定 創立120周年を迎える	
1970年(昭和45年)	機械製作所設置(1978年株式会社ニッケ機械製作所として独立)		2017年(平成29年)	プレミアムオーダースーツ「NIKKE1896」神戸店オープン ニッケパークタウン「ミーツテラス」オープン (株)エミーを子会社化	
1984年(昭和59年)	加古川市にショッピングセンター「ニッケパークタウン」をオープン		2018年(平成30年)	(株)AQUAを子会社化 ニッケ商事(株)と双洋貿易(株)を合併 「ナインアワーズ新大阪駅」開業 (株)ニッケ・メディカルを設立	
1988年(昭和63年)	市川市にショッピング・飲食・スポーツなどの複合施設「ニッケコルトンプラザ」オープン				
1991年(平成3年)	大阪市中央区瓦町3-3-10に現ニッケ本社ビル完成				
1995年(平成7年)	双洋貿易(株)を買収、馬具・乗馬用品の製造・販売事業へ進出				
1996年(平成8年)	ニッケ創立100周年を迎える 一宮市に「ニッケ創作工房」を開設				

# 事業紹介 衣料繊維/産業機材事業



(参考)

## 衣料繊維事業

衣料用途を中心とした  
高性能素材・製品の開発・製造・販売

グループ会社(2018年4月現在)  
株式会社ナカヒロ、アカツキ商事株式会社、佐藤産業株式会社、株式会社ニッケファブリック、大成毛織株式会社、ニッケテキスタイル株式会社、尾州ウール株式会社、株式会社ニッケ起ダイニング、金属ニット株式会社、株式会社キューテック、杉本織物株式会社、青島日毛織物有限公司、江陰日毛紡織有限公司

**事業別売上比率**  
事業別売上高 359億57百万円  
2017年売上高 1,035億円  
37%

**事業内容内訳**

- ユニフォーム 79%
- テキスタイル 9%
- ヤーン 12%

**原材料**

- 原綿
- トップ (原綿と糸との中間製品)

**生地**

- 〈ユニフォーム〉
  - 学校向け ●企業向け
  - 官公庁向け
- 〈テキスタイル〉
  - アパレルブランド向け

**糸**

- 海外主に欧州
- 国内

**生地**

**強み** [設計力・開発力]  
伝統と革新によって築いた製造力・開発力

**変遷** 衣料繊維事業は祖業となる繊維事業をベースにユニフォーム、テキスタイル、糸の3つの事業で構成され、2009年度に事業部として発足しました。

## 産業機材事業

ウールから化繊、糸から紐・フェルト・不織布の  
開発・製造・卸売/産業用機器の設計・製造・販売

グループ会社(2018年4月現在)  
株式会社ニッケ機械製作所、アンビック株式会社、日本フェルト工業株式会社、江陰安碧克特種紡織品有限公司、安碧克(香港)有限公司、安碧克(上海)貿易有限公司、株式会社ゴーセン、ホクレン株式会社、上海高織制絨有限公司、ゴーセントイランド、ニッケタイランド、株式会社エミー、偉明貿易(廈門)有限公司、EMI Trading & Engineering (India) Pvt. Ltd.

**事業別売上比率**  
事業別売上高 205億45百万円  
2017年売上高 1,035億円  
20%

**事業内容内訳**

- アンビック (産業用素材) 36%
- ゴーセン (産業用素材・生活用素材) 27%
- ニッケ機械 (産業用機械) 36%

**原材料**

- 原綿 ●糸
- チップ(化学繊維の原料)

**フェルト不織布**

- 楽器用
- 環境関連フィルター用(集塵)
- OA用 ●自動車用

**糸・紐**

- 〈工業用途〉
  - 自動車のエアバッグ ●シートベルト等
- 〈スポーツ用品用途〉
  - テニスラケットのガット ●釣り糸等

**工場向け自動化ライン (自動車関連他)**

プラントエンジニアリング  
(工場向け機械設計、メンテナンスノウハウ)

**強み** [設計力・開発力]  
顧客のニーズに応える設計力・開発力

**変遷** 産業機材事業は繊維工場の修繕部門が独立し発展した(株)ニッケ機械製作所、フェルト製造・販売のアンビック(株)、糸の製造・販売の(株)ゴーセンの3つのグループ会社で構成され、2013年度に事業部として発足しました。

※記載内容は一部2017年度時点での内容が含まれます

# 事業紹介 人とみらい開発/生活流通事業



(参考)

## 人とみらい開発事業

「街づくり」を主眼とした地域共生型のサービス提供  
および不動産開発

グループ会社(2018年4月現在)  
ニッケ不動産株式会社、株式会社ニッケレジャーサービス、株式会社ニッケインドアテニス、株式会社ニッケ・ケアサービス、日本バムコ株式会社、株式会社ジーシーシー、ニッケアウデオSAD株式会社、ニッケ・タウンパートナーズ株式会社、株式会社ニッケライフ 等

**事業別売上比率**  
事業別売上高 344億70百万円  
2017年売上高 1,035億円  
33%

**事業内容内訳**

- 開発事業 29%
- 介護 8%
- スポーツ関連 10%
- 通信・新規サービス 54%

**街づくり**

- 住みよい街づくり
- 地域の活性化
- 健康・安全・安心の促進
- 雇用の創出

**強み** [信用力] 街づくりで積み重ねた信用力

**変遷** 人とみらい開発事業は繊維に次ぐ第2の柱を育てるべく、昭和50年代に本格化した開発事業をベースに介護、レジャー、通信・新規サービス等の事業で構成され、2013年度に事業部として発足しました。

## 生活流通事業

商社機能を活かした、グループ内外に対する販売・物流サービスの提供

グループ会社(2018年4月現在)  
ニッケ商事株式会社、株式会社ニッケ物流、株式会社ナイスデイ、株式会社こどものかお、株式会社友栄、株式会社ツキネコ、株式会社ニッソーファミリー、ミヤコ商事株式会社、株式会社AQUA 等

**事業別売上比率**  
事業別売上高 125億23百万円  
2017年売上高 1,035億円  
12%

**事業内容内訳**

- 寝装 19%
- ホビークラフト関連 12%
- Eコマース 31%
- その他 39%

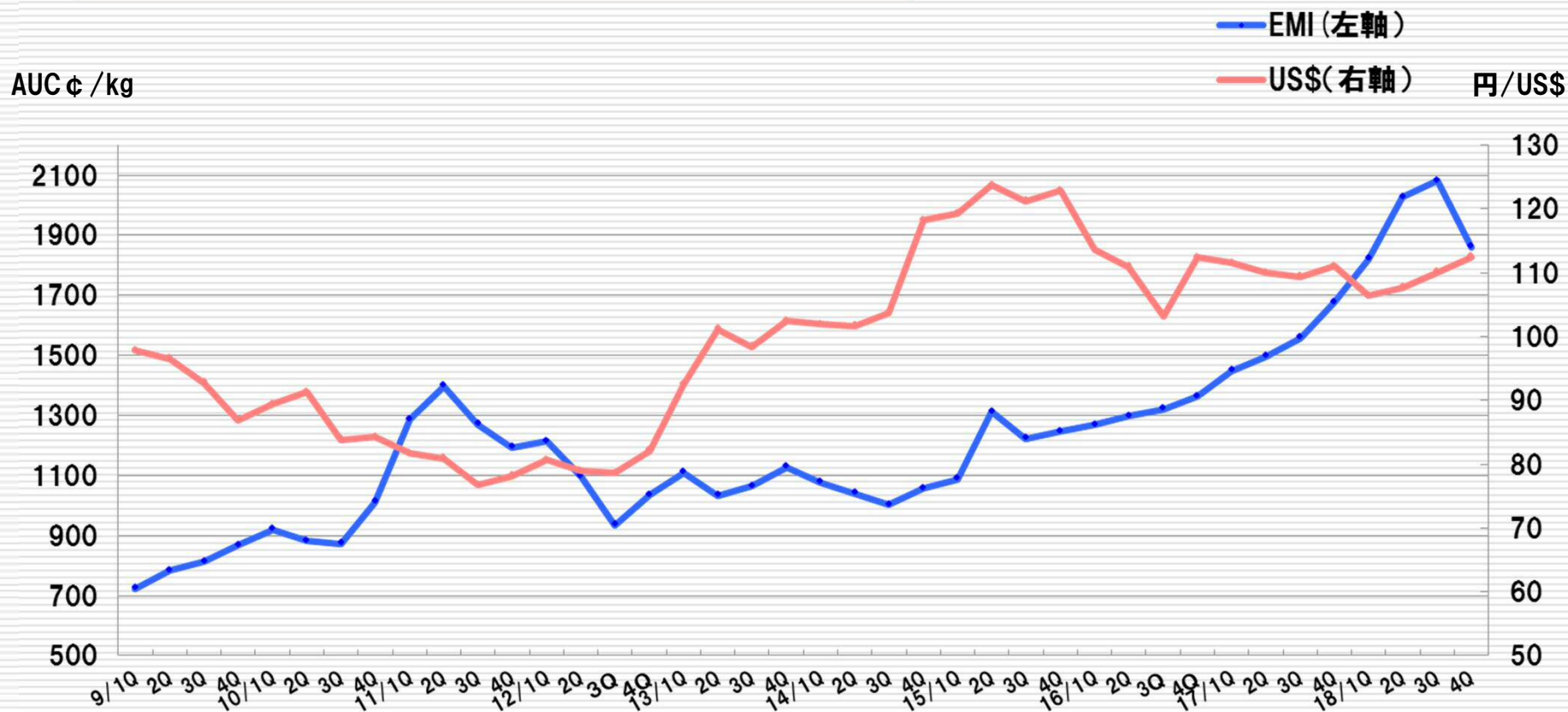
**Eコマースの体系**  
(関係性の高い領域同士の連携)  
物流機能との一体サービス

**強み** [発想力] 事業の枠に捉われない自由な発想力

**変遷** 生活流通事業部は祖業である毛布の製造販売を取り扱う寝装事業をベースに、ホビー関連、Eコマース、貿易代行等の事業で構成され、2009年度に事業部として発足しました。

※記載内容は一部2017年度時点での内容が含まれます

# 羊毛相場・為替相場の推移について

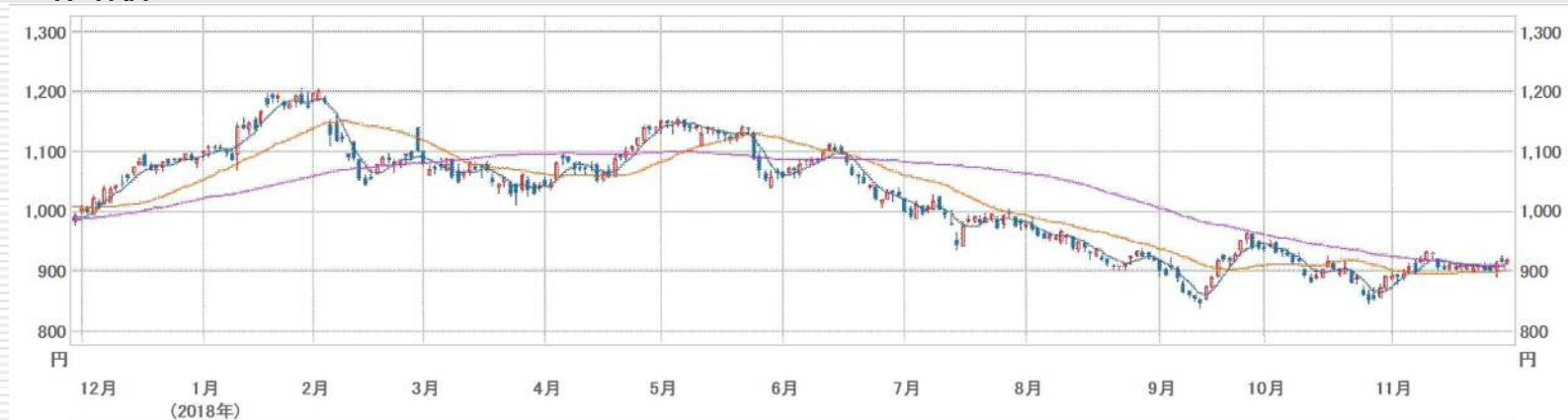


※EMI (豪州羊毛東部市場価格指標)

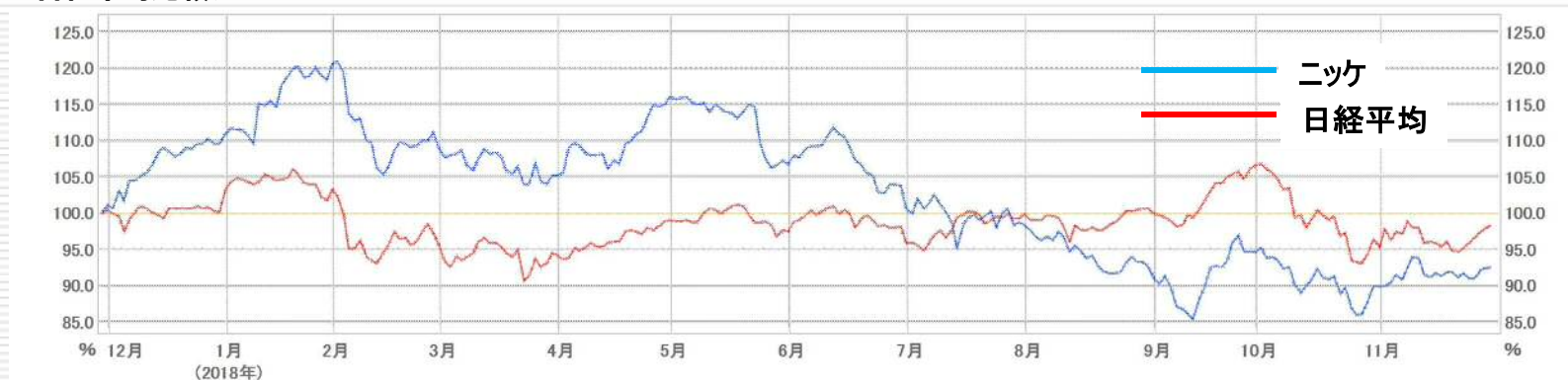
# 株価チャート 期間:2017/12/1~2018/11/30(直近1年)



<当社株価チャート>



<日経平均比較チャート>



**IRに関するお問い合わせ  
ニッケ(日本毛織株式会社)  
経営戦略センター総務法務広報室  
TEL 06-6205-6601**

本資料中の業績予想、見通しおよび事業計画についての記述は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。